

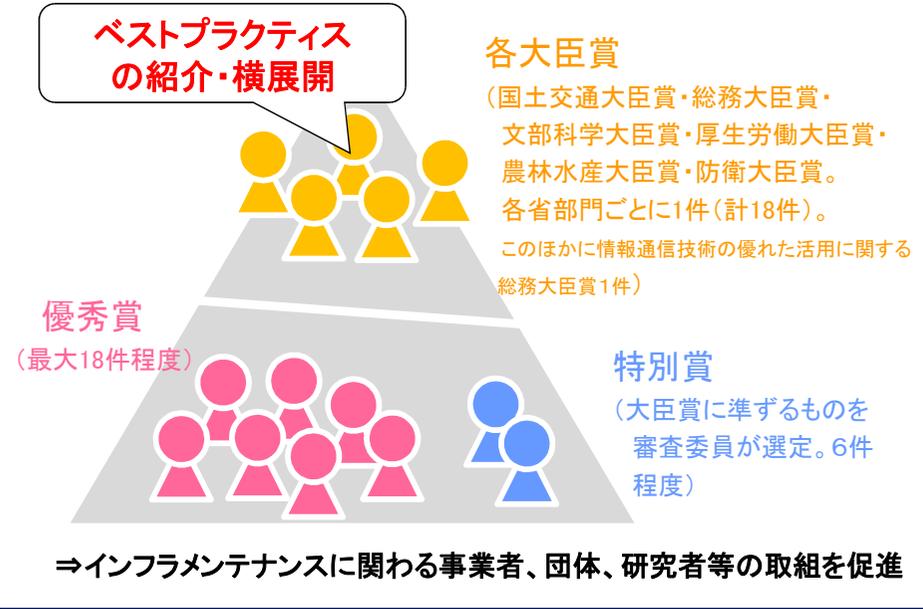
インフラメンテナンス大賞と インフラメンテナンス国民会議について

インフラメンテナンス大賞の創設

国民へのメンテナンスの理念の普及、ベストプラクティスの幅広い横展開を図るため、**日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰する「インフラメンテナンス大賞」**を平成28年11月に創設。

インフラメンテナンス大賞の概要

1	主催者	国土交通省・総務省・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・防衛省
2	表彰時期	毎年開催
3	表彰対象	インフラメンテナンスにかかる特に優れた取組・技術開発 ア)メンテナンス実施現場における工夫部門 イ)メンテナンスを支える活動部門 ウ)技術開発部門
4	審査方法	有識者による選考委員会にて審査・選出
5	表彰の種類	国土交通他5大臣賞／特別賞／優秀賞
6	事務局	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 国土交通省大臣官房公共事業調査室



開催実績

・第1回(H28.11~12公募)では、**248件の中から全28件の受賞案件を決定(H29.4)**

第1回表彰式(H29.7.24)



国土交通大臣賞

メンテナンス実施現場における工夫部門

「下水道のビッグデータ」を活用したメンテナンス



道路陥没や浸水等の情報をデータベース化

(東京都下水道局)
下水道管のビッグデータを補修や再構築等の計画立案・工事発注に活用。

メンテナンスを支える活動部門

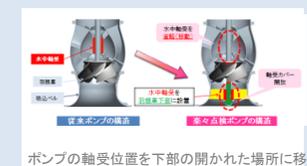
しゅうニャン橋守隊(CATS-B)による猫の手メンテナンス活動



(しゅうニャン橋守隊)
道路施設の重要性等の広報や維持管理をボランティアとして実施。

技術開発部門

維持管理性を向上させた河川排水用新形立軸ポンプの技術開発



(株式会社荏原製作所)
ポンプの軸受位置を工夫し、点検等の作業コスト削減等を実現。

・第2回(H29.10~11公募)は、**H30春に受賞者を決定する予定**

平成29年10・11月 募集

平成30年1・2月 審査

平成30年春 受賞者決定

平成30年夏 表彰式

第1回インフラメンテナンス大賞 受賞案件一覧

省	表彰の種類	部門※	分野	応募者 (代表企業・団体名)	応募案件名
総務省	総務大臣賞	ウ	情報通信	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)	屋外設備データベースのメンテナンスを抜本的に効率化する計測・管理技術の開発
	情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞	ウ	道路	首都高速道路(株)	GISと三次元点群データを活用した道路・構造物維持管理支援システムの開発
	特別賞	ア	情報通信	(株)NTTファシリティーズ	全国各地へ面的に広がる日本の通信インフラの保守、機能継続
	優秀賞	ア	情報通信	東日本電信電話(株)	通信用鉄塔設備劣化度判定の簡易化・定量の実現と点検業務効率化の推進
ア		情報通信	(株)NTT東日本-東北	元位置工具による共架柱の更改コストの削減について	
ウ		情報通信	讀賣テレビ放送(株)	タブレット端末を使用したオンエア監視装置の開発	
文部科学省	文部科学大臣賞	イ	文教施設等	国立大学法人名古屋大学	大学施設の創造的再生に向けた教職協働によるキャンパスマネジメント
	特別賞	イ	文教施設等	国立大学法人岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター	健全なインフラメンテナンスをリードする技術者の育成事業(ME養成及び道守養成)
	優秀賞	ア	文教施設等	八女市	老朽化した中学校屋内運動場の長寿命化を図り活用した取組
		ア	文教施設等	橋本市	橋本市立高野口小学校の木造校舎の改修
厚生労働省	厚生労働大臣賞	ウ	水道	(株)テック	既設経年管を再利用したステンレス・フレキ管による水道管路の更新・耐震化の新工法
	優秀賞	ア	水道	東京都水道局	漏水防止計画作業
		ウ	水道	日本ヴィクトリック(株)	伸縮可とう管の変位状況を簡単に検知できる専用の計測装置で、管路の安全管理に貢献

省	表彰の種類	部門※	分野	応募者 (代表企業・団体名)	応募案件名
農林水産省	農林水産大臣賞	イ	農業農村	山田堰土地改良区	水田を潤す日本最古の三連水車(1789年 寛政元年)の維持・伝統・環境保全活動
		イ	林野	公益財団法人オイスカ・名取市海岸林再生の会	東日本大震災復興支援「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」
		ウ	水産	一般社団法人全日本漁港建設協会	「漁港施設点検システム」の構築と活用
	特別賞	ア	農業農村	有田川土地改良区	畑地かんがい用水送水施設(パイプライン)の破損事故発生からの早期復旧への取り組み
	優秀賞	ア	農業農村	愛谷堰土地改良区	農業水利施設における地域住民参加型「直営施工工事」
		イ	林野	NPO法人北海道魚道研究会	魚道データベースの構築と魚道清掃ボランティア活動
ウ		農業農村	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	ポンプ設備の劣化進行を状態監視する新たな診断システム	
国土交通省	国土交通大臣賞	ア	下水道	東京都下水道局	「下水道管のビッグデータ」を活用したメンテナンス
		イ	道路	しゅうニャン橋守隊	しゅうニャン橋守隊(CATS-B)による猫の手メンテナンス活動
		ウ	河川・ダム・砂防・海岸	(株)荏原製作所	維持管理性を向上させた河川排水用新形立軸ポンプ(楽々点検ポンプ)の技術開発
	特別賞	ア	鉄道	東海旅客鉄道(株)	東海道新幹線土木構造物の大規模改修による長寿命化
	優秀賞	ア	道路	青森県	青森県におけるトータルマネジメントシステムによる橋梁維持管理
ア		道路	島根県	道路橋及びコンクリート構造物の点検・診断等アドバイザー制度	
防衛省	防衛大臣賞	ア	自衛隊施設	清水建設(株) ・(株)村田相互設計 ・中国四国防衛局	海上自衛隊 第1術科学校『大講堂』平成の大改修
				(独)国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター	地元インフラを地元で守り次世代へと継承する建設技術者育成活動

※凡例 ア メンテナンス実施現場における工夫部門 イ メンテナンスを支える活動部門 ウ 技術開発部門

インフラメンテナンス国民会議

社会資本の維持管理における分野横断的な連携、多様な主体との連携等を推進するため、**インフラメンテナンス国民会議** (H28年11月設立) は産学官民の技術や知恵をインフラメンテナンスに総動員するプラットフォームとして活動

これまでの活動概要

産学官民の会員ネットワークを活かし、フォーラム活動を通じて**企業間連携による技術開発や新技術の現場試行の促進、ベストプラクティスの横展開等**を実施。

参加者間で
ニーズ・好事例
の共有

ニーズに対する
民間の技術提案
(プレゼン等)

適用性や改善点
を確認するため
現場試行を実施

これまでの成果例

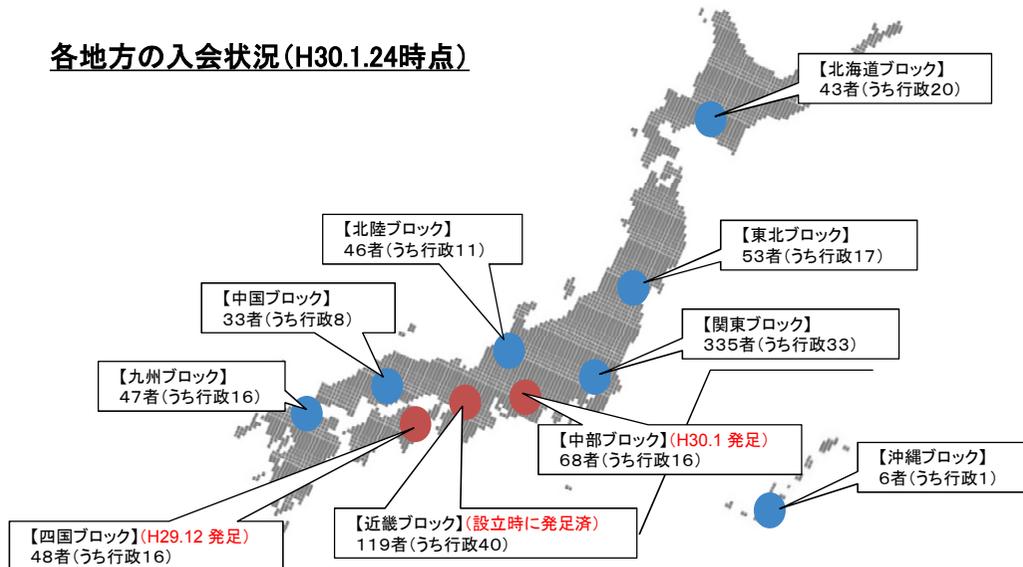
- 革新的河川管理プロジェクト
H29.12に「洪水時に特化した低コストな水位計」の開発が完了し、今後、順次現場へ実装化
- 路面性状把握技術の現場試行



今後の展開

平成29年度内に**全国各10ブロックでフォーラムの発足を予定**しており、**各地域における施設管理者のニーズに基づいた活動展開**を図る。

各地方の入会状況 (H30.1.24時点)



フォーラムの活動内容例

新技術の活用



メンテナンスの課題を解決する技術等の紹介や技術マッチング



新技術導入の検討の現場試行の調整

地域一体で取り組むメンテナンス



各地の地域によるメンテナンス活動の紹介



地域一体の取り組みへのサポート

民間のノウハウ活用



包括的民間委託等の民間活用取組事例の紹介



個別施設設計画の策定・実施の課題解決につながるアイデア紹介

技術者体制づくり



技術者の確保や育成に関する各地での取組み紹介



地域における技術者派遣の仕組みづくりの支援